

平成 29 年 度

(集落排水特別会計)

主 要 な 施 策 の 成 果 の 説 明

芽 室 町

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
1 総務費	2 施設管理費	1 施設管理費	140118	浄化槽維持管理事業

事務事業名	浄化槽維持管理事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 53 年度から 年度まで
-------	-----------	---------	--------	--------------	--------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 昭和53年度供用開始の集落排水処理場及び平成6年度から設置し稼働中である717基の個別合併浄化槽が正常に機能するための維持管理業務。集落排水は公共下水道と同等の使用料(基本料:月1,491円)。個別合併浄化槽は別に定める使用料を徴収し一般会計繰入金を財源として、浄化槽法7条・11条検査及び浄化槽の機能を維持するための定期的な保守点検を行う。生活排水の浄化と放流水の水質基準の適正監視のため集落排水処理場は週1回、個別合併浄化槽は年3回の巡回点検を実施する。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 集落排水処理場及び個別合併処理事業で設置した合併浄化槽。
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 適切な管理により農村部生活排水の浄化を行い水質向上を図る。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 集落排水事業が昭和53年度から供用開始され、また、個別合併浄化槽新設事業が平成6年度から開始されたため各施設の維持管理が必要となった。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 集落排水処理場は、施設の設置から30年を超えた。平成10年度に1回目の更新事業を行ったが、今後2回目の更新事業に向けた計画を検討する。個別合併浄化槽は、設置基数700基を超え、維持管理費が増大しているが、生活環境の維持と公共用水域の水質保全には必要な施設である。既設浄化槽の適正な維持管理に努め、延命化を図る必要がある。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

			単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円	2,916,000	972,000	1,950,000
		地 方 債	円			
		その他(使用料等)	円	26,159,000	23,136,000	32,385,000
		一 般 財 源	円	37,874,006	43,119,204	38,531,000
		事業費計 (A)	円	66,949,006	67,227,204	72,866,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.2155	0.1454	
		人件費計 (B)	円	1,775,628	1,131,149	
	トータルコスト(A)+(B)		円	68,724,634	68,358,353	
活 動 指 標		集落排水処理場	箇所	1	1	1
		合併処理浄化槽	基	713	716	724

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
一般会計繰入金(施設管理費)	円	26,159,000	23,136,000	32,385,000
農山漁村地域整備交付金	円	2,916,000	972,000	1,950,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○平成29年度水洗化等に伴う排水設備工事件数

水洗化等工事件数	9 件
上美生集落排水	0 件
合併処理浄化槽	9 件

○平成29年度末事業別水洗化等件数

上美生集落排水	73 件
個別合併処理水洗化	716 件

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
2 事業費	1 事業費	1 事業費	140119	個別合併処理浄化槽新設事業

事務事業名	個別合併処理浄化槽新設事業	事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 6 年度から 年度まで
-------	---------------	---------	--------	--------------	-------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 平成29年度 新設7基 平成30年度 公共下水道区域及び集落排水区域を除く区域の農村地区水洗化の推進を行うため、8基の浄化槽を設置予定。
2.対象(何を対象にしているのか～人、公共施設、自然資源など) 公共下水道区域及び集落排水区域を除く区域の農村地域水洗化世帯。744基設置済み。
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水洗化により汚水を浄化し、農村生活環境の整備による公衆衛生の向上、生活雑排水による公共水域の汚濁防止と保全を図る。また、農村部の良好な居住環境の整備により都市部との交流に寄与する。

(2) 事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 芽室町では、昭和53年に集落排水、昭和56年に公共下水道の供用開始により水洗化を行ってきた。平成5年に芽室町生活排水処理計画を確立し、農村部に散在する住民の生活環境向上、農村部花嫁対策、都市と農村の交流など均衡ある町づくりを推進する目的から平成6年度より開始した。
2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測 (どう変わったか、どうなるか) 平成17年度に農村環境整備の事業としては、当初の目的を達成されたと判断し、平成18年度から事業の縮小を行い、平成19・20年度は各20基の設置とした。平成21年度以降からは受益者分担金の改正等事業内容の見直しを行ったうえで、個別排水の更新にも配慮しながら当面5基/年程度の施工とし当該事業を継続してきた。しかし、毎年設置規定数以上の申し込みがあることから、平成25年度以降は、待機者の解消を図るため実行計画時までの申込数を施工する。

(3) 事務事業に関する変更点

☐ 新規の事務事業	☐ 統廃合・分割などによる変更	☐ 対象・意図の見直しによる活動指標の変更
----------------------------------	--	--

(4) 総事業費・指標等の推移

※上段(3)の項目に該当する場合、28年度の内容は空欄としていたことがあります。

		単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
投入量	事業費	国・道支出金	円		
		地 方 債	円	27,500,000	12,400,000
		その他(使用料等)	円	2,790,200	1,181,200
		一 般 財 源	円	5,317,400	2,500,000
		事業費計 (A)	円	35,607,600	16,081,200
	人件費	正職員従事人数	人	2	2
		人工数(業務量)	年間	0.1800	0.1243
		人件費計 (B)	円	1,483,123	967,000
	トータルコスト(A)+(B)		円	37,090,723	17,048,200
活動指標	浄化槽設置数		基	15	7
	設置希望世帯数		戸	19	8

(5) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細 節 名	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
個別排水処理事業受益者分担金	円	2,790,200	1,181,200	1,551,000
個別排水処理施設整備事業起債	円	27,500,000	12,400,000	16,800,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○合併処理浄化槽設置整備状況

区分	整備計画	平成28年度以前施工	平成29年度施工	平成29年度末施工状況	進捗率
浄化槽 人口(人)	4,200	3,270	-10	3,260	77.6%
設置基数(基)	600	737	7	744	124.0%

○年度別設置基数

年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
設置基数(基)	38	38	60	60	60	60	56	50	48	39	40	40	20	20	20	5	5	
年度	23	24	25	26	27	28	29											計
設置基数(基)	5	5	18	18	17	15	7											744

○事業費内訳

事業費	平成28年度決算額(円)	平成29年度決算額(円)	平成29年度決算額の内容
個別排水処理施設整備工事	35,607,600	16,081,200	合併処理浄化槽の設置工事費(7基分)

■特定財源について

個別排水処理事業受益者分担金

1,181,200 円

人槽	分担金単価	基数	分担金調定額	分担金収入済額
5	145,200円	5	726,000円	726,000円
7	173,800円			
10	227,600円	2	455,200円	455,200円
計		7	1,181,200円	1,181,200円

個別排水処理施設整備事業起債額

7 基分

12,400,000 円

(水道課 下水道工務係)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
浅沼アイ宅 個別 排水処理施設整備工事 5人槽 浸透桝2基	2,041,200					石崎設備工業㈱ H29.6.19～H29.7.19
中木基博宅 個別 排水処理施設整備工事 5人槽 放流工L=30m	1,814,400					㈱松山工業 H29.7.10～H29.8.30
坂本浩一宅 個別 排水処理施設整備工事 5人槽 浸透桝2基	2,160,000					㈱松山工業 H29.9.4～H29.11.6
清水秀輝宅 個別 排水処理施設整備工事 10人槽 浸透桝2基	3,294,000					石崎設備工業㈱ H29.9.11～H29.10.26
竹内定雄宅 個別 排水処理施設整備工事 5人槽 放流工L=32m	1,825,200					石崎設備工業㈱ H29.9.25～H29.10.26
橋本和宏宅 個別 排水処理施設整備工事 5人槽 放流工L=7m	1,652,400					石崎設備工業㈱ H29.9.25～H29.10.26
鈴木一徳宅 個別 排水処理施設整備工事 10人槽 浸透桝2基	3,294,000					㈱松山工業 H29.9.25～H29.11.24
合 計	16,081,200		12,400,000	1,181,200	2,500,000	